

第4回 GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会 議事要旨

日時：令和5年5月24日（水）11時から 11時30分まで

方式：対面（東京都庁第一本庁舎33階N1会議室）及びオンラインの併用

1 開会

2 審議事項

（1） 令和4年度GRAND CYCLE TOKYO実行委員会決算について

- ・ 予算額193,000円に対して、決算額は78,300円。実行委員会委員謝礼等。

（2） 専門部会の設置について

- ・ 臨海、多摩実行委員会が解散されることに伴い、GRAND CYCLE TOKYO実行委員会に専門部会を設置することで調整。臨海、多摩各専門部会において各事業の企画、事業運営について検討。

【審議事項について異議なし】

3 報告事項

（1） 令和5年度における契約手続きの状況について

- ・ レインボーライド及び多摩自転車ロードレース、その他イベント等についてそれぞれ事業者が決定。今回の契約手続きにあたっては、基本計画及び昨年度の実績資料の提供、プレゼンのフォーマットの共通化、審査基準の具体化等により、選定プロセスの公平性、透明性確保に努めた。

（2） 令和5年度の事業スケジュールについて

- ・ レインボーライド：5月下旬にコース発表、7月中旬から参加者募集開始。10月下旬にイベント詳細を発表する予定。
- ・ 多摩自転車ロードレース：7月末～8月上旬に参加者募集開始、8月中旬から交通規制広報を開始、11月上旬にイベント詳細の発表する予定。
- ・ サイクル活用推進事業：都内の各自治体と連携し、7月以降に事業を各地で実施していく予定。

（3） 実行委員会におけるガバナンス強化について

- ・ 国及び都においては、スポーツ団体及びスポーツイベント等へのガバナンスを強化しており、GRAND CYCLE TOKYO実行委員会としてもガバナンス強化をしっかり図っていきたい。

4 委員による主なコメント

- ・（質問）初めての開催となる多摩自転車ロードレースが、事業運営及び安全性の管理の観点から、最も難易度が高いものと考えられる。今回選定された事業者は路上競技を実施した実績がどの程度あるのか。

→（事務局回答）箱根駅伝やマラソン等の大会について実績があるほか、自転車競技についても、国内の自転車ロードレース運営に関わるスタッフが参画しており、また東京2020大会の経験者も加わっている。提案に当たっても綿密かつ具体的な計画が提示されている。

- ・（コメント）事業者だけでなく、自転車ロードレース開催に当たっては交通規制に係る地元との調整など、実行委としてもきちんと体制を整えて対応いただき、大会を成功させてほしい。
- ・（コメント）タンデム自転車の公道での走行が可能になること、ヘルメット着用の努力義務が法律で定められるなど、自転車に関しては昨今、法的制度的な動きがある。イベント等の実施を通じて自転車の安全教育についても進めてほしい。
- ・（コメント）ヘルメット着用の努力義務化については、一部の区市町村でヘルメット購入補助を行っているが、東京都ではまだ進んでいない状況がある。ヘルメットの着用、タンデム走行が可能になったことについては、サイクル活用推進事業等のイベントでもPRをしっかりとやっていただきたい。

5 その他

なし

6 閉会